

# CEREC Tiベース マニュアル

THE DENTAL  
SOLUTIONS  
COMPANY™

 Dentsply  
Sirona

# ワークフロー



## 【スキャンボディ】

- スキャンボディ+Tiベース
- スキャンボディ+スキャンポスト



## 【CADソフト】

- セレックSW
- インラボSW

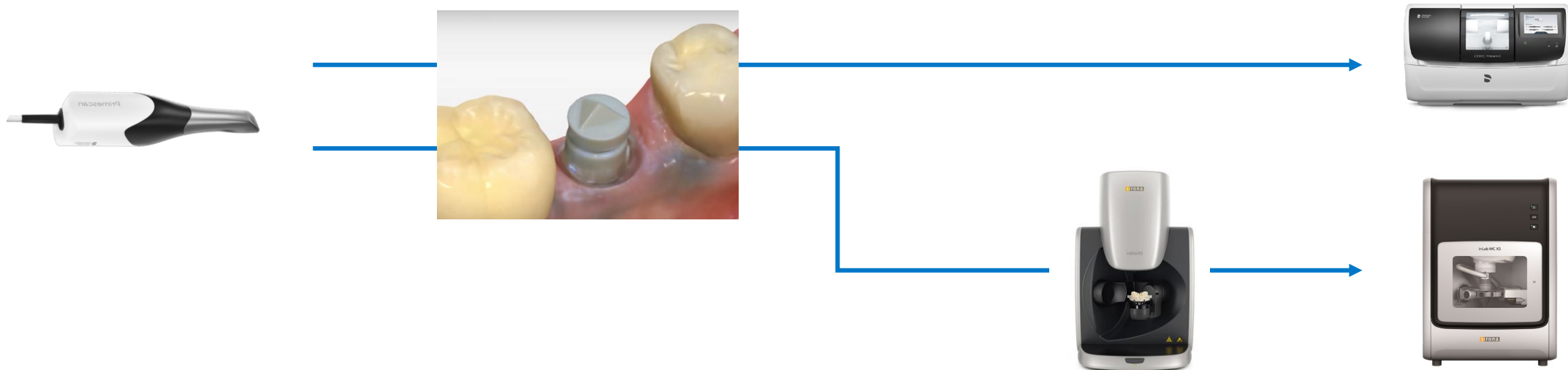


## 【Ti ベース】

【ライブラリ】  
インストール不要

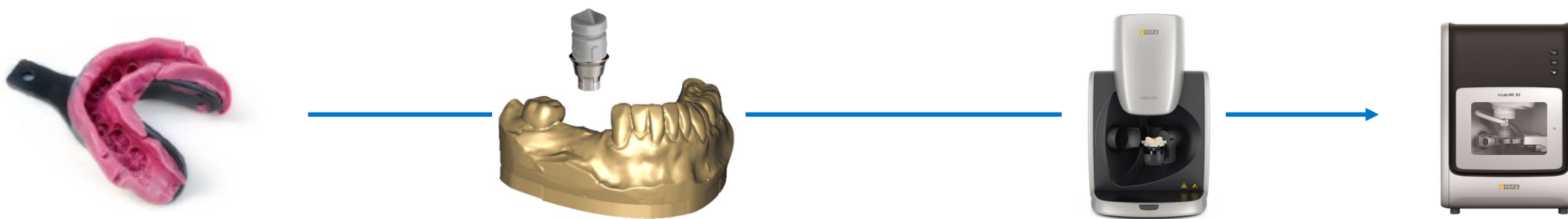
# ワークフロー

作製フロー① 口腔内をセレックで直接スキャン



# ワークフロー

## 作製フロー② 模型をインラボでスキャン



# スキャンボディ

- スキャンボディとTiベースもしくはスキャンポストを組み合わせて使用します

粘膜貫通部が浅い場合



スキャンボディ

Tiベース

粘膜貫通部が深い場合



スキャンボディ

スキャンポスト



# スキャンボディ

- スキャンボディとTiベースもしくはスキャンポストを組み合わせて使用します

粘膜貫通部が浅い場合



粘膜貫通部が深い場合



# 対応システム

## 【デザインソフト】

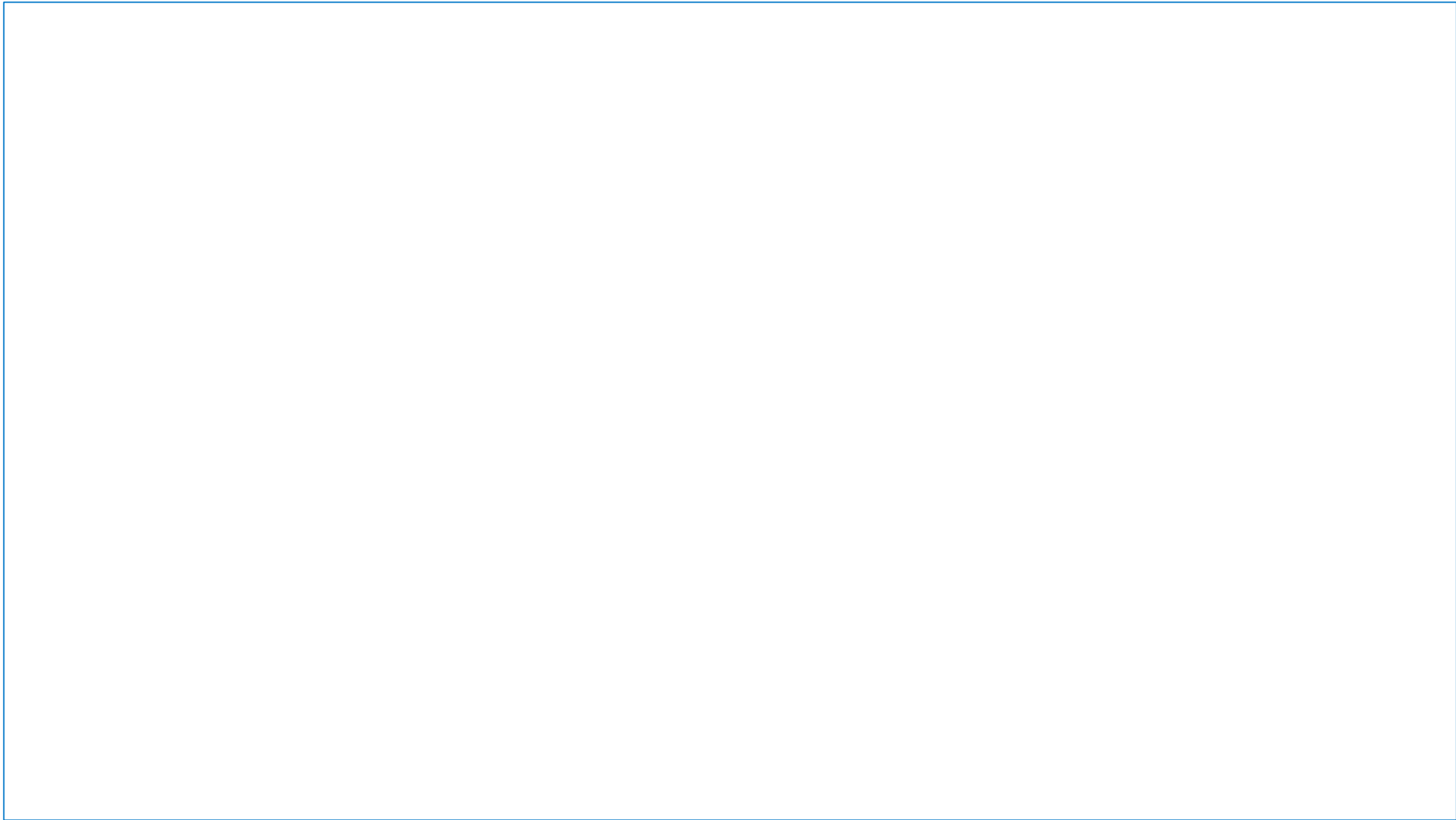
- CEREC SW…4.4.4以上（2016/10リリース）
- inLab SW…15以上

## 【インプラントシステム】

- Astra tech implant EV

# ワークフロー（動画）





# ワークフロー (プレゼン)

# 1. 登錄



新規患者登録

姓	ASTRA	名	Demo
生年月日	2021	1月	21
カルテナンバー	1234		
歯科医			

通法に従い患者を登録

新規患者登録

歯例の追加

100%

9:18  
2021/01/21

表示



## 修復物タイプ

 自動検出 欠損

## 設計モード

 バイोजェネリック バイोजェネリックコピー コピーおよびミラー

## マテリアル

 CEREC Zirconia (グラインディング) IPS e.max CAD (グラインディング)

メーカーを選択

 SpeedFire最速化のみ

## デバイス

ミリングユニット

症例の詳細



インプラントを選択

修復物が選択されていません

修復物を選択しませんでした。

 このメッセージを今後表示しない。

次へ →

修復物の  
設定

100%

9:18  
2021/01/21

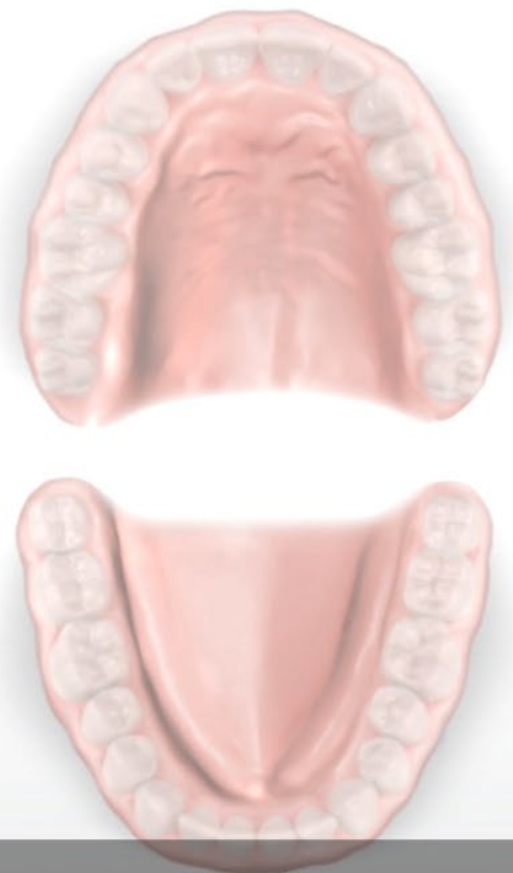
表示

修復物タイプ

スクリューリテインクラウン

フラットトップのクラウン

欠損



症例の詳細

”スクリューリテインクラウン”を選択（その他項目は任意）

修復物が選択されていません

修復物を選択しませんでした。

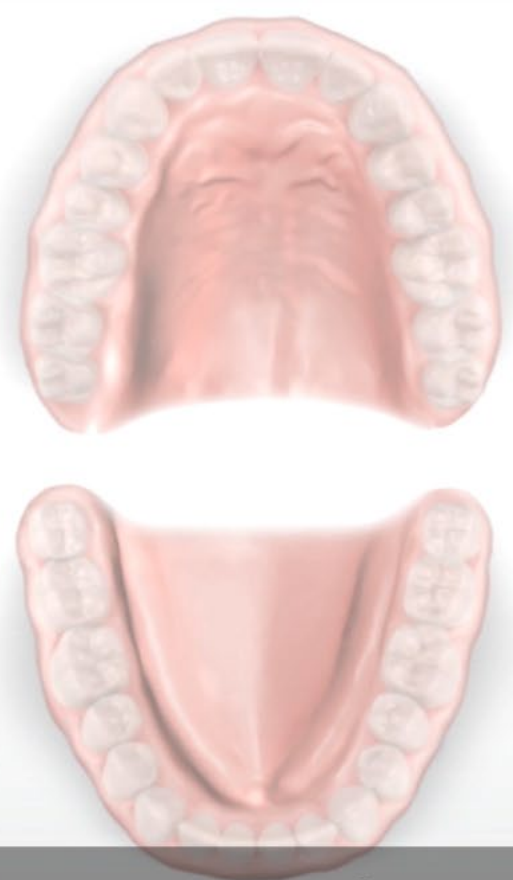
このメッセージを今後表示しない。

次へ →

修復物の設定



- 表示
- ANK C/X GH1
  - ANK C/X GH2
  - AT EV 3.0 GH1
  - AT EV 3.6 GH1
  - AT EV 4.2 GH1
  - AT EV 4.8 GH1
  - AT EV 5.4 GH1
  - AT TX 3.0
  - AT TX 3.5/4.0
  - AT TX 4.5/5.0
  - XIVE 3.0
  - XIVE 3.4
  - XIVE 3.8



症例の詳細

“TiBase”→“Dentsply Sirona”→“AT EV (直径、粘膜高さ)”を選択

修復物が選択されていません

修復物を選択しませんでした。  
 このリセーブルを再表示しない。

次へ →

表示

修復物タイプ

- スクリューリテインクラウン
- アバットメントのクラウン
- 欠損

設計モード

バイオジェネリック

マテリアル

CEREC Zirconia meso (ミリング)

デバイス

Primemill 601007

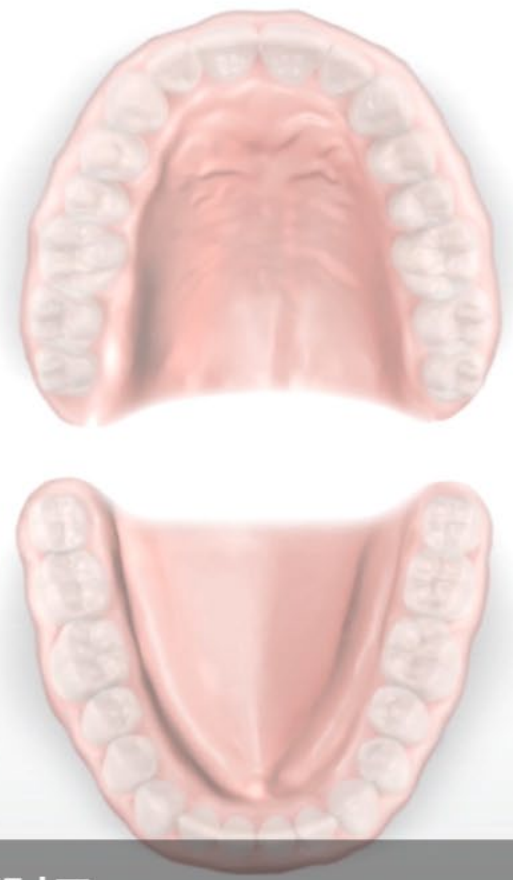
TiBase

AT EV 4.2 GH1

スキャンボディのタイプ

- TiBase
- ScanPost

症例の詳細



”スキャンボディのタイプ”を選択

修復物が選択されていません

修復物を選択しませんでした。

このメッセージを今後表示しない。

次へ →

修復物の設定

- 表示
- 修復物タイプ
    - スクリューリテインクラウン
    - アバットメントのクラウン
    - 欠損
  - 設計モード
    - バイोजェネリック
  - マテリアル
    - CEREC Zirconia meso (ミリング)
  - デバイス
    - Primemill 601007
  - TiBase
    - AT EV 4.2 GH1
  - スキャンボディのタイプ
    - ScanPost
  - ScanPost
    - AT EV 4.2

症例の詳細



# インプラント埋入部位を選択

修復物が選択されていません

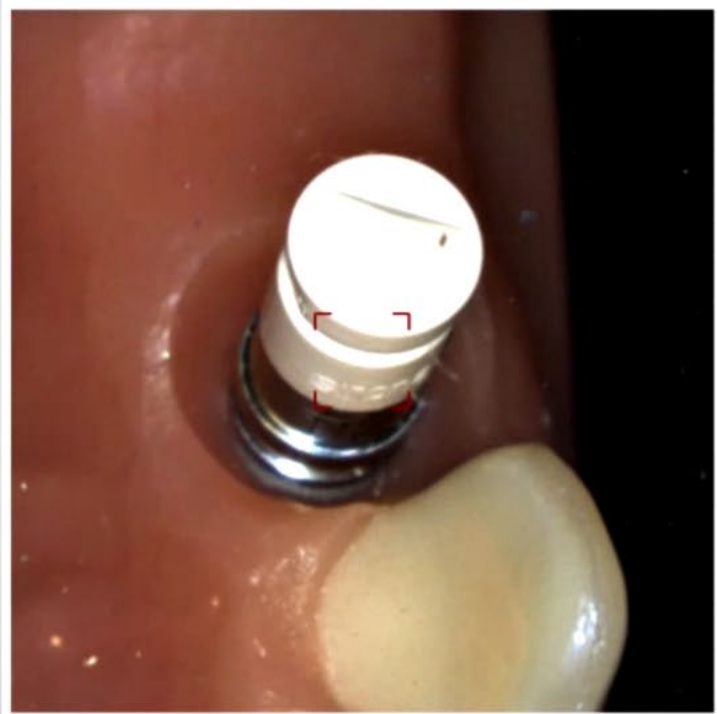
修復物を選択しませんでした。

このメッセージを今後表示しない。

次へ →

# 2. 撮影

Primescan: 認証



口腔内にスキャンボディをセットし”上顎スキャンボディ”カタログを撮影



下顎

上顎

頬側

上顎スキャンボディ

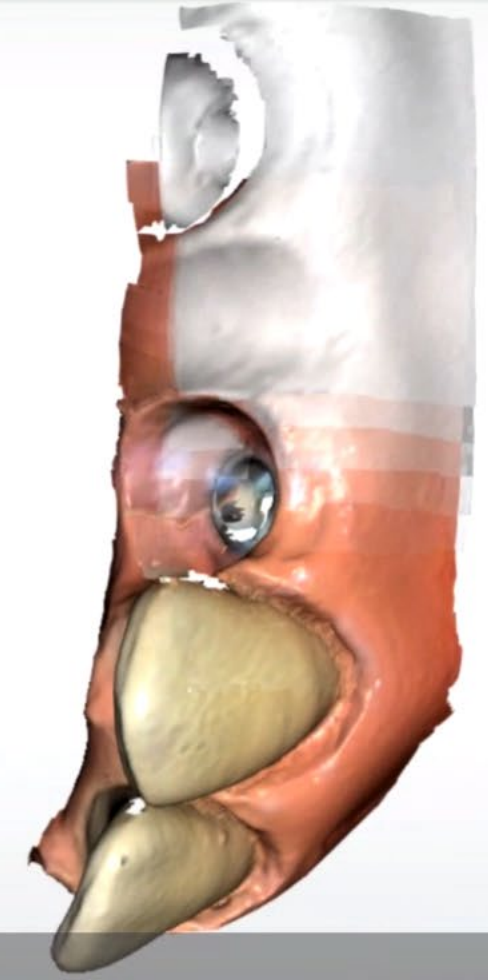
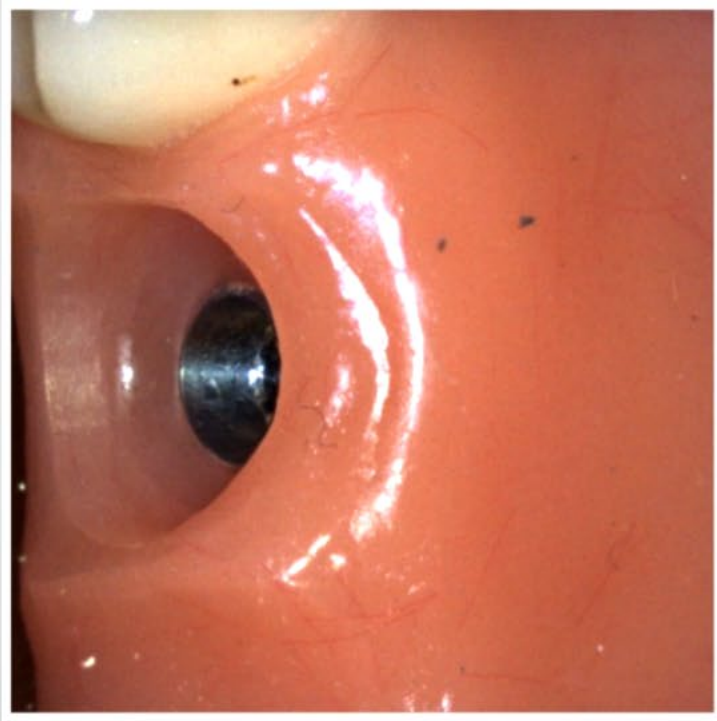
写真/ビデオ

スキャン\*

削除



Primescan: 認証



ポストを外し”上顎カタログ”を撮影

下顎 上顎 頬側 上顎スキャンボディ 写真/ビデオ スキャン ✓

削除

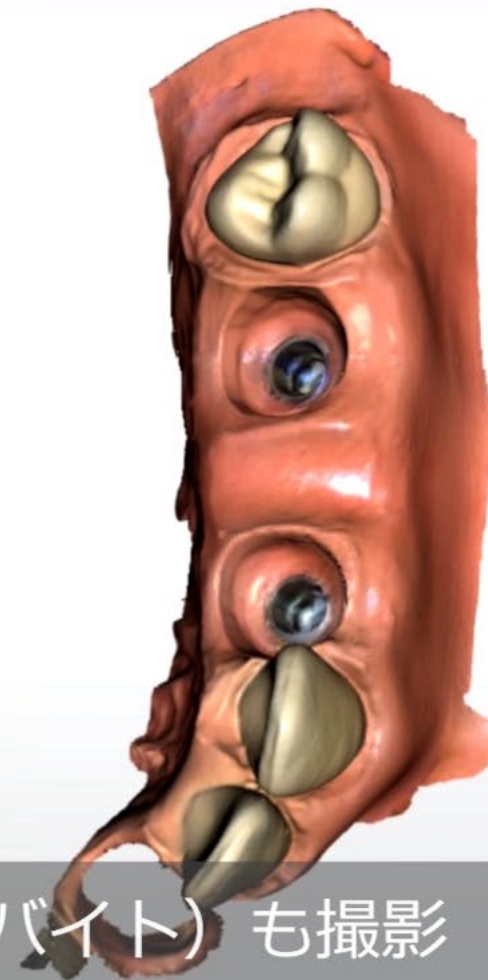


Primescan: 電源OFF

**Primescanは電源OFFです。**

フットスイッチまたはSW上のボタンを使用してPrimescanを有効にします。

必要に応じて“下顎”（対合）、“頬側”（バイト）も撮影



下顎

上顎

頬側

上顎スキャンボディ

写真/ビデオ

スキャン ✓



削除

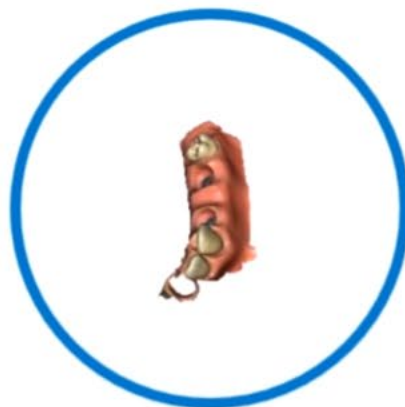


100%

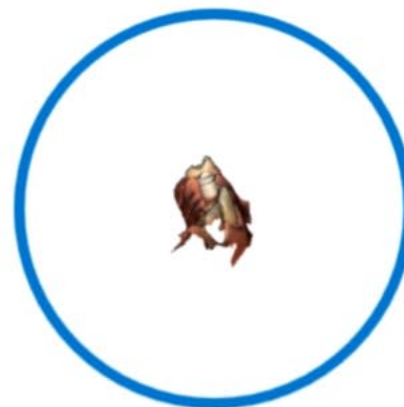
9:24

2021/01/21

模型のトリミング

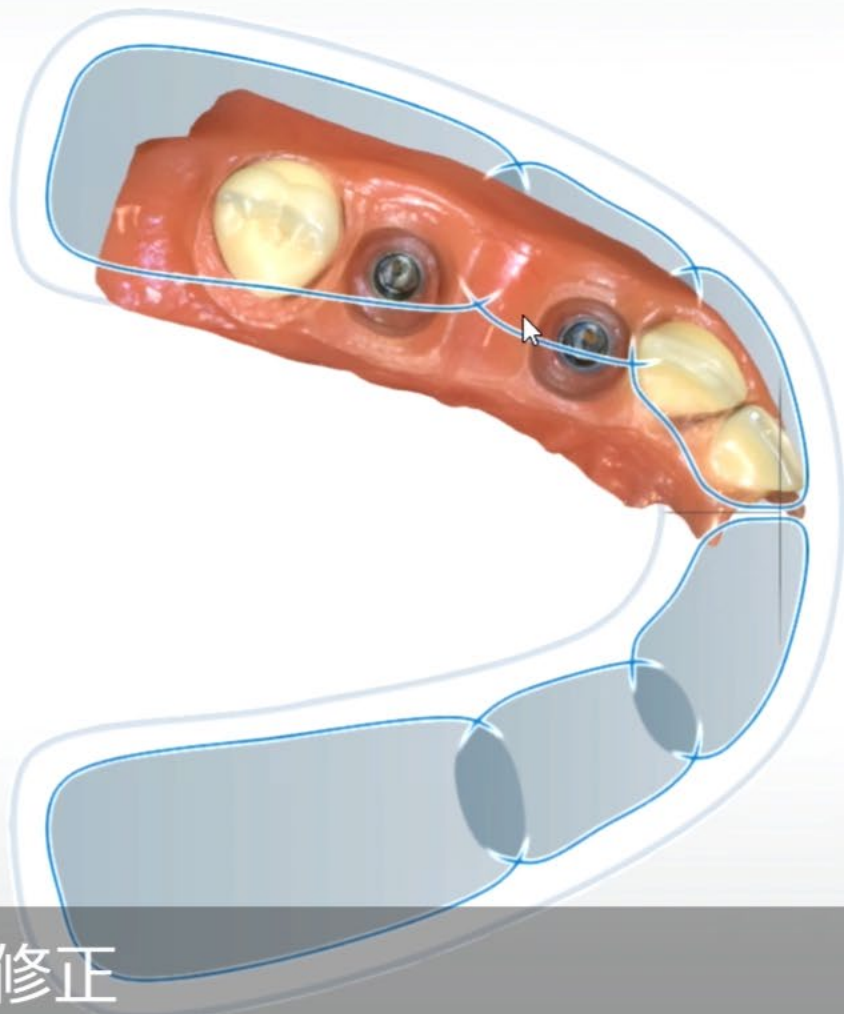
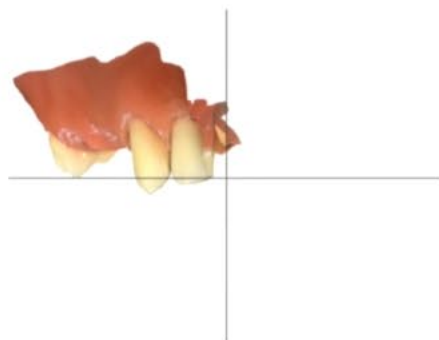


上顎



上顎スキャンボディ

# 3. スキャンボディのポジション



通法に従い模型の方向を修正



模型の編集 ✓

手動登録 ✓

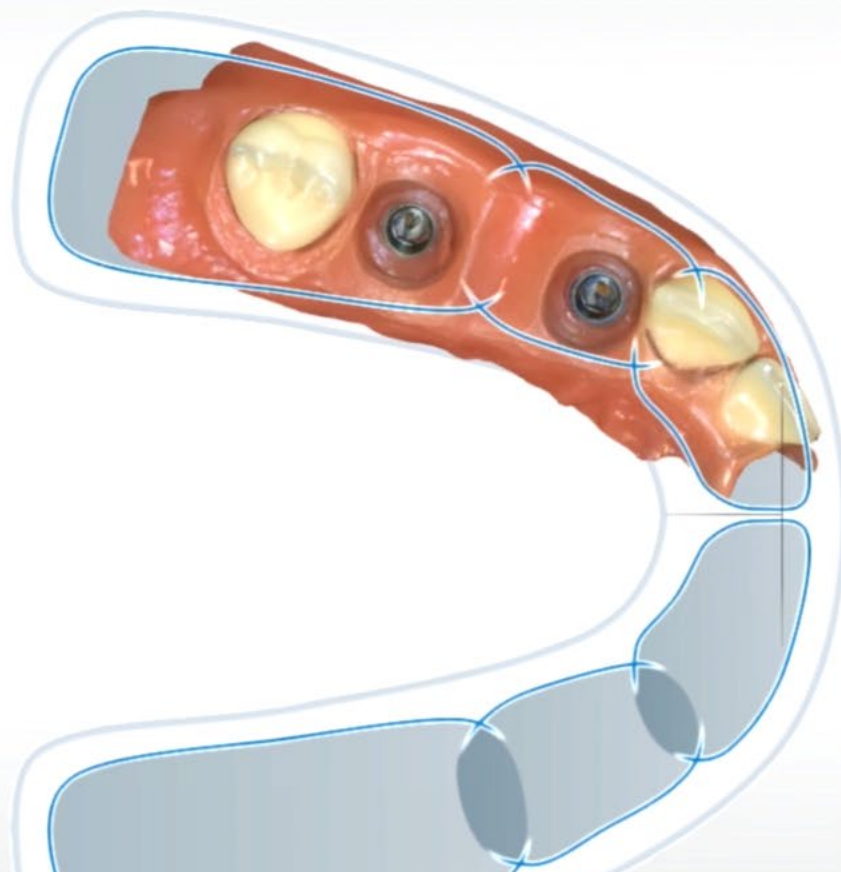
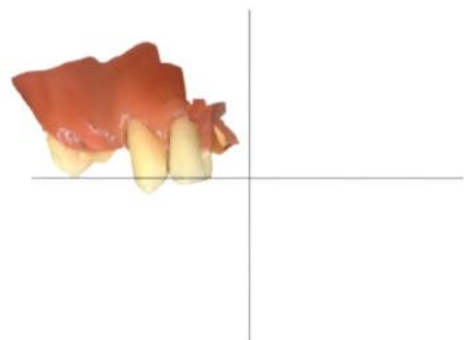
模型軸の設定 \*

トリムエリア

スキャンボディヘッドをク  
リック

ベースラインの編集

OK



画面下"OK"をクリックし"スキャンボディヘッドをクリック"をクリック

模型の編集 ✓

手動登録 ✓

模型軸の設定 +

トリムエリア

スキャンボディヘッドをク  
リック

ベースラインの編集







ツール

スキャンボディヘッドをクリック

🗑️ ↻

スキャンボディ上面の三角形頂点をクリック

14

模型の編集 ✓

手動登録 ✓

模型軸の設定 ✓

トリムエリア ✓

スキャンボディヘッドをク  
リック ✓

ベースラインの編集 ✓



# 4.1. エマージェン스プロファイル

(クラウン形態を優先して立ち上げる場合)

ツール

スキャンボディヘッドをクリック

🗑️ ↻

画面右下"ベースラインの編集"をクリック

模型の編集 ✓

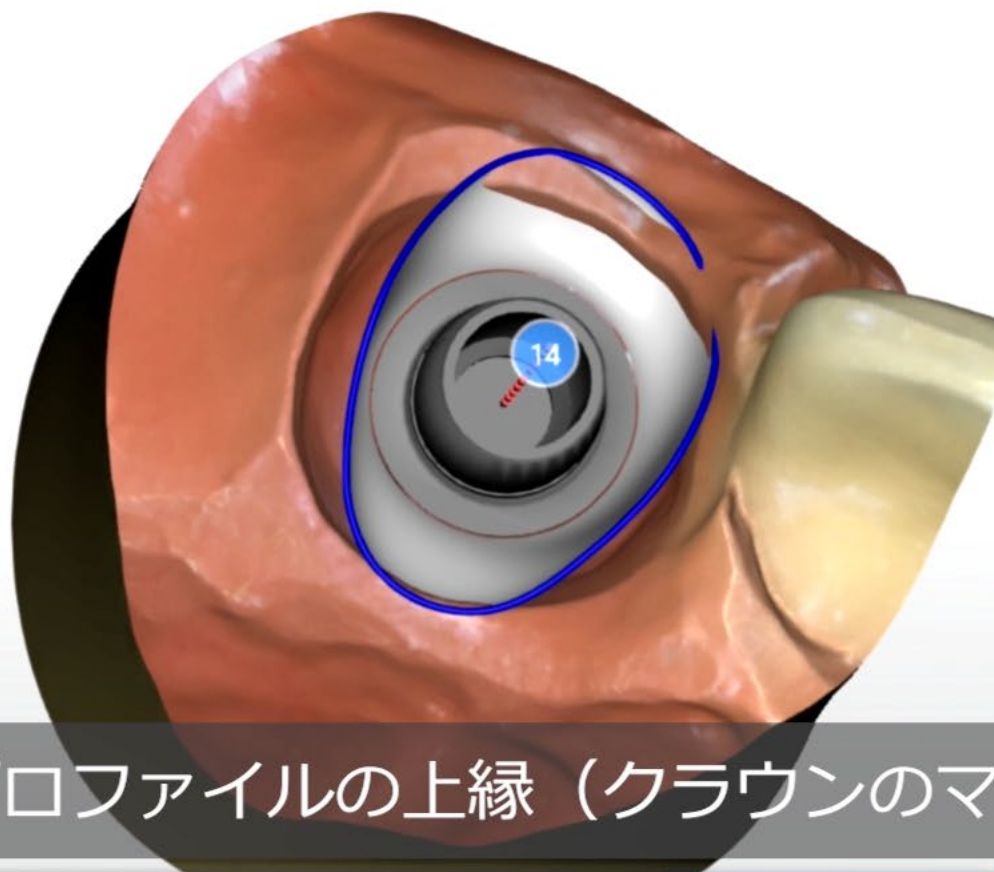
手動登録 ✓

模型軸の設定 ✓

トリムエリア ✓

スキャンボディヘッドをク  
リック ✓

ベースラインの編集 ✓



青線はエマーゼンスプロファイルの上縁（クラウンのマージン）

ツール

ベースラインの編集

 歯肉マスク使用

オブジェクトの表示

上顎

100 %

 顎スキャンボディ

100 %

 トリム模型 模型ベース TIBase インプラント

模型の編集 ✓

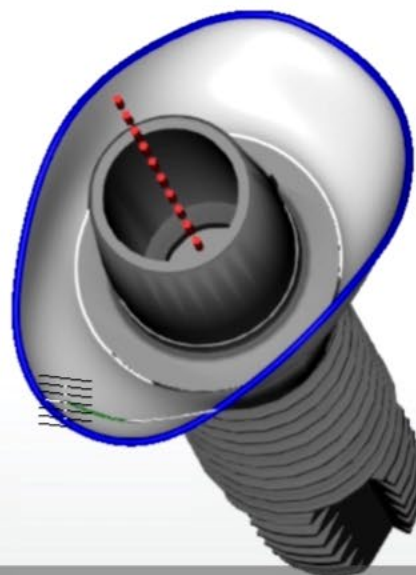
手動登録 ✓

模型軸の設定 ✓

トリムエリア ✓

スキャンボディヘッドをク  
リック ✓

ベースラインの編集 ✓



ツール

ベースラインの編集

歯肉マスク使用

◀ ▶ ↺

オブジェクトの表示

上顎 100%

上顎スキャンボディ 100%

トリム模型

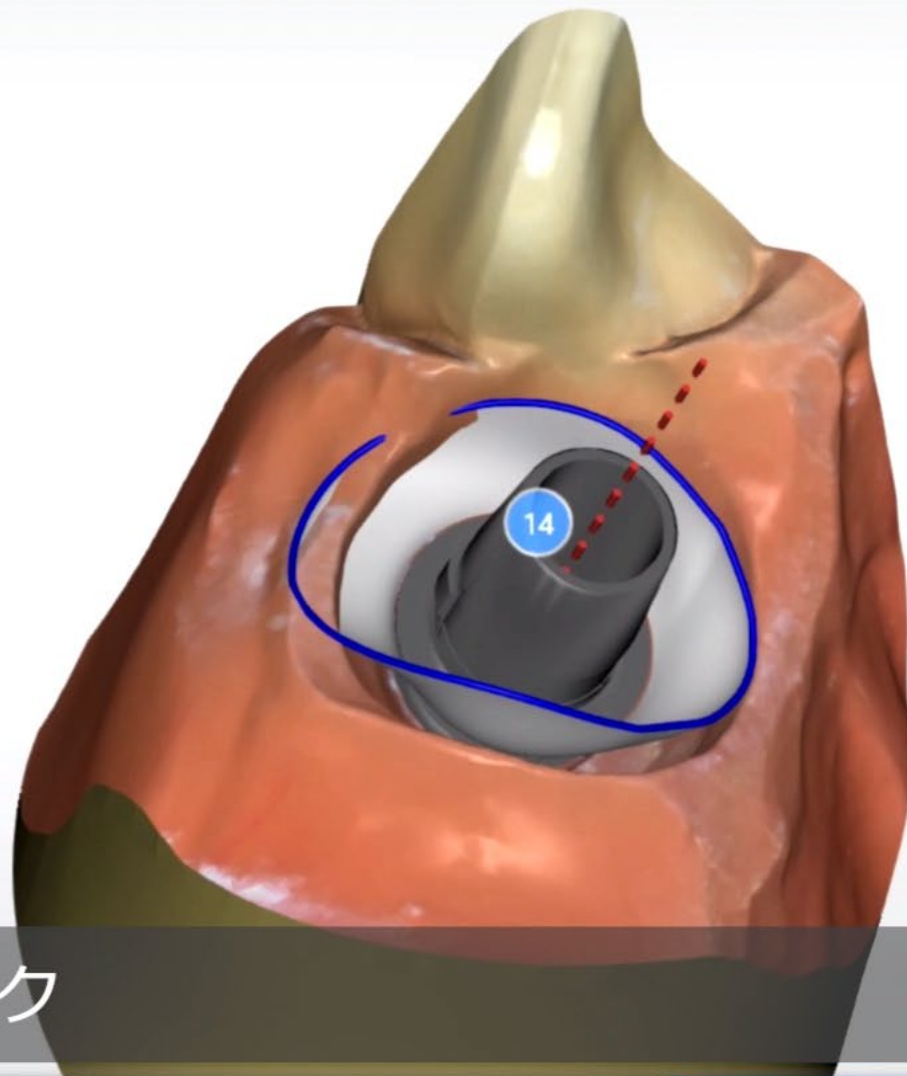
模型ベース

TiBase

インプラント

任意で描き直すことも可能





ツール

ベースラインの編集

歯肉マスク使用

オブジェクトの表示

上顎 100 %

上顎スキャンボディ 100 %

トリム模型

模型ベース

TIBase

画面下、右矢印をクリック

模型の編集 ✓

手動登録 ✓

模型軸の設定 ✓

トリムエリア ✓

スキャンボディヘッドをク  
リック ✓

ベースラインの編集 ✓



オブジェクトの表示

上顎 100 %

最小厚み

ツール

- フォーム
- ポジション
- シェーブ
- 再計算
- バリエーション
- 縮小
- コンタクトを調整

分析ツール

修復物コンタクト

バイオジェネリックによるクラウンデザイン

修復物パラメーター ✓

形態 ✓

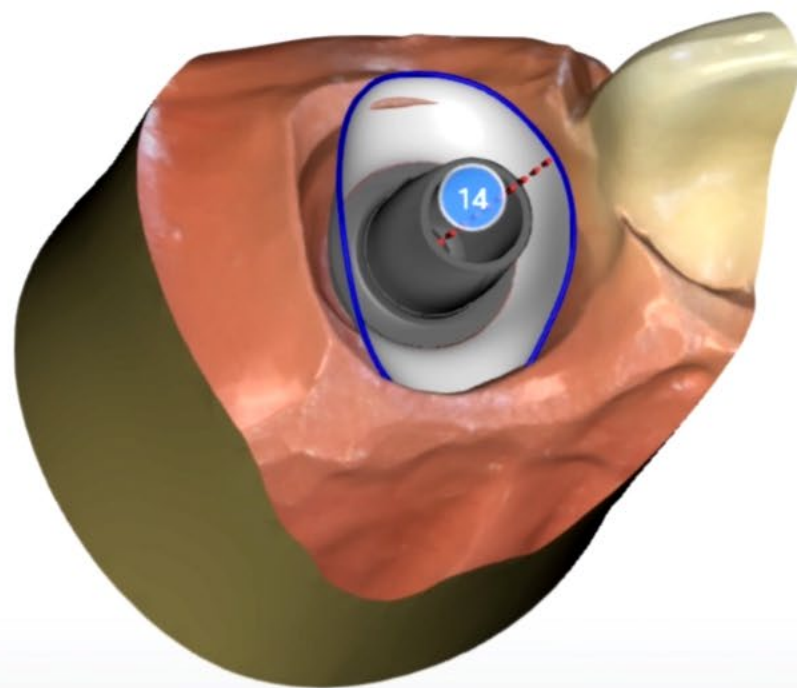
ポジショニング ✓

修復物の編集 ✓



# 4.2. エマージェンstrupファイル

(粘膜形態に合わせて立ち上げる場合)



画面右下"ベースラインの編集"→画面右上"歯肉マスク使用"をチェック



模型の編集 ✓

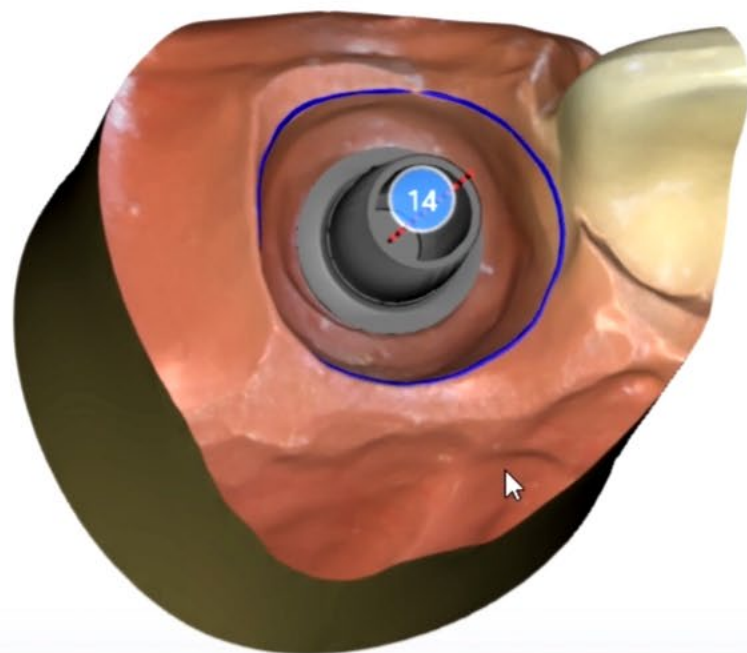
手動登録 ✓

模型軸の設定 ✓

トリムエリア ✓

スキャンボディヘッドをク  
リック ✓

ベースラインの編集 ✓



ツール

- ベースラインの編集
- 歯肉マスク使用

オブジェクトの表示

- 上顎 100 %
- 上顎スキャンボディ 100 %
- トリム模型
- 模型ベース
- TiBase
- インプラント

青線はエマーゼンスプロファイルの上縁（クラウンのマージン）



模型の編集 ✓

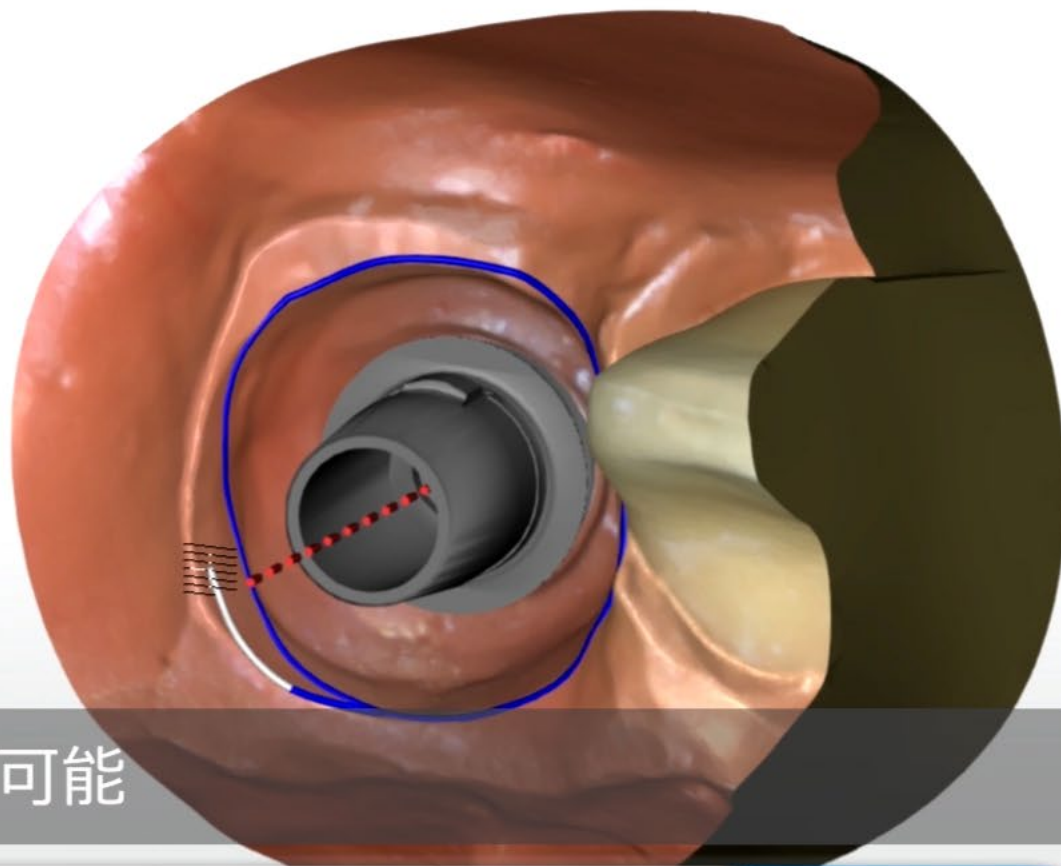
手動登録 ✓

模型軸の設定 ✓

トリムエリア ✓

スキャンボディヘッドをク  
リック ✓

ベースラインの編集 ✓



任意で描き直すことも可能

ツール

- ベースラインの編集
- 歯肉マスク使用

オブジェクトの表示

- 上顎 100%
- 上顎スキャンボディ 100%
- トリム模型
- 模型ベース
- TiBase
- インプラント

14

- 模型の編集 ✓
- 手動登録 ✓
- 模型軸の設定 ✓
- トリムエリア ✓
- スキャンボディヘッドをクリック ✓
- ベースラインの編集 ✓



ツール

ベースラインの編集

歯肉マスク使用

オブジェクトの表示

上顎 100%

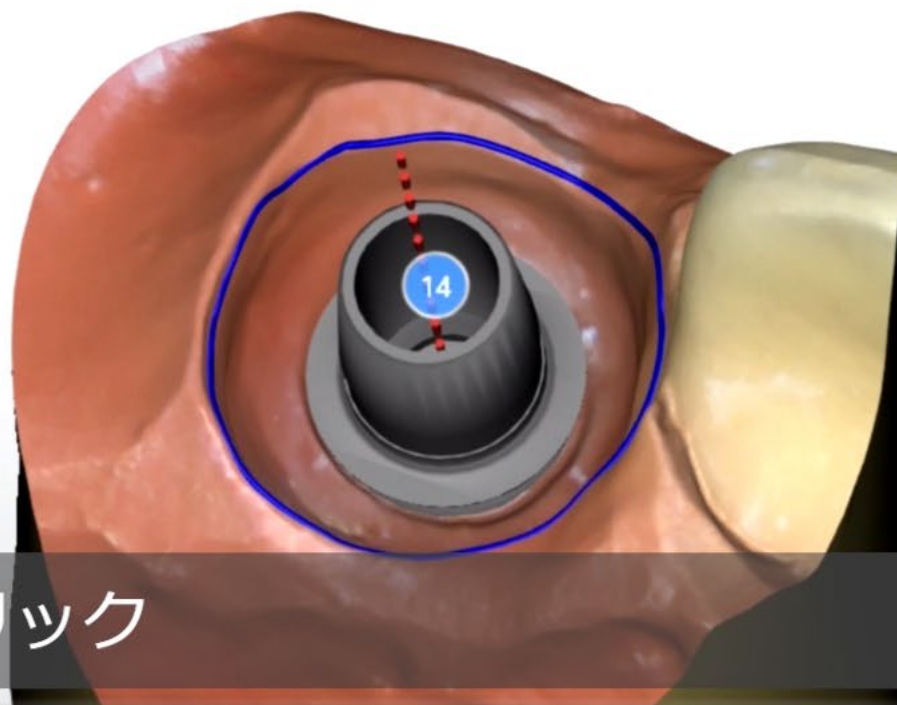
上顎スキャンボディ 100%

トリム模型

模型ベース

TiBase

インプラント



画面下、右矢印をクリック



模型の編集 ✓

手動登録 ✓

模型軸の設定 ✓

トリムエリア ✓

スキャンボディヘッドをク  
リック ✓

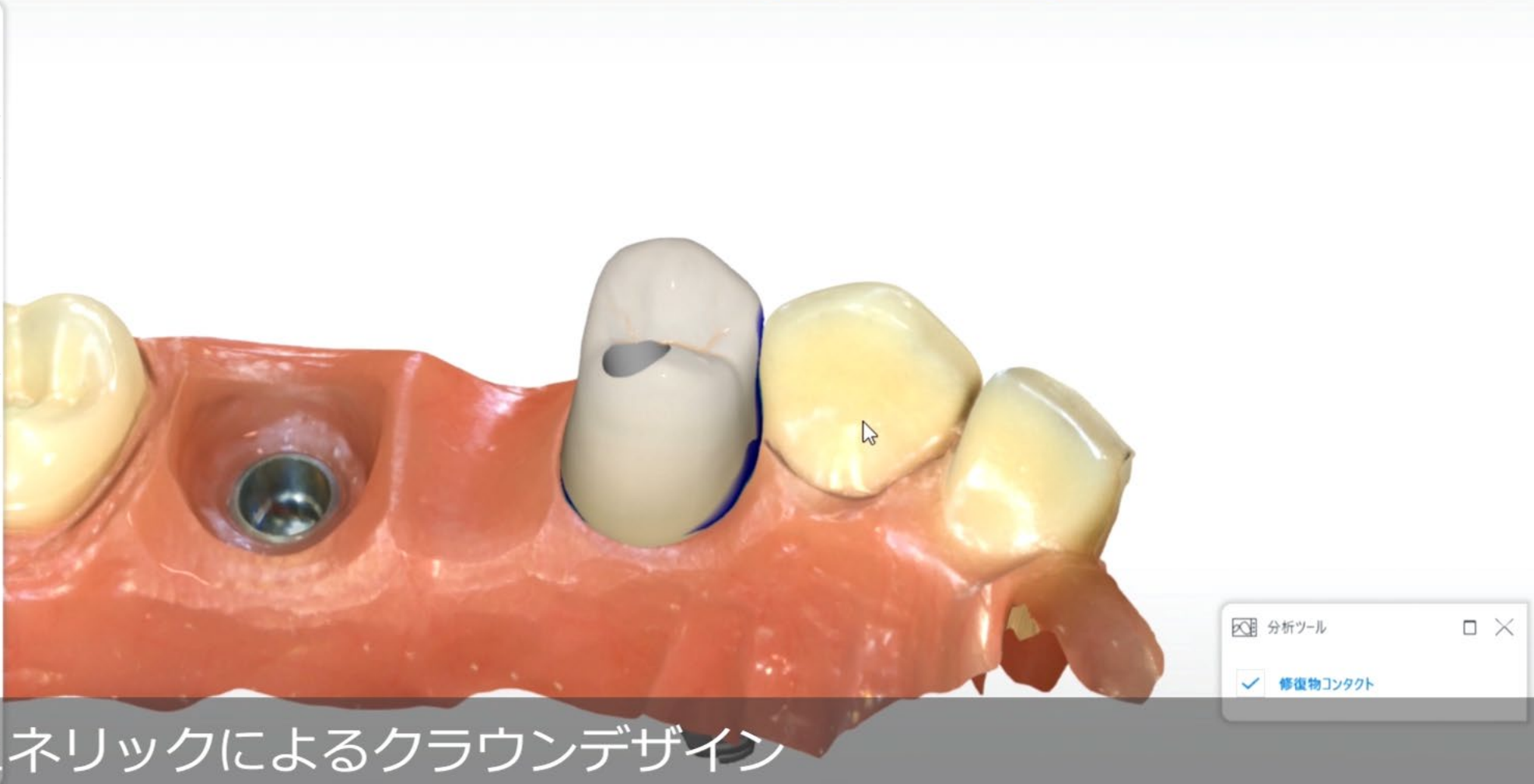
ベースラインの編集 ✓





オブジェクトの表示

- 上顎 100 %
- 上顎スキャンボディ 100 %
- 最小厚み
- 修復物 100 %
- トリム模型
- 模型ベース
- TiBase
- インプラント
- バイオジェネリックによるクラウンデザイン



分析ツール

- 修復物コンタクト

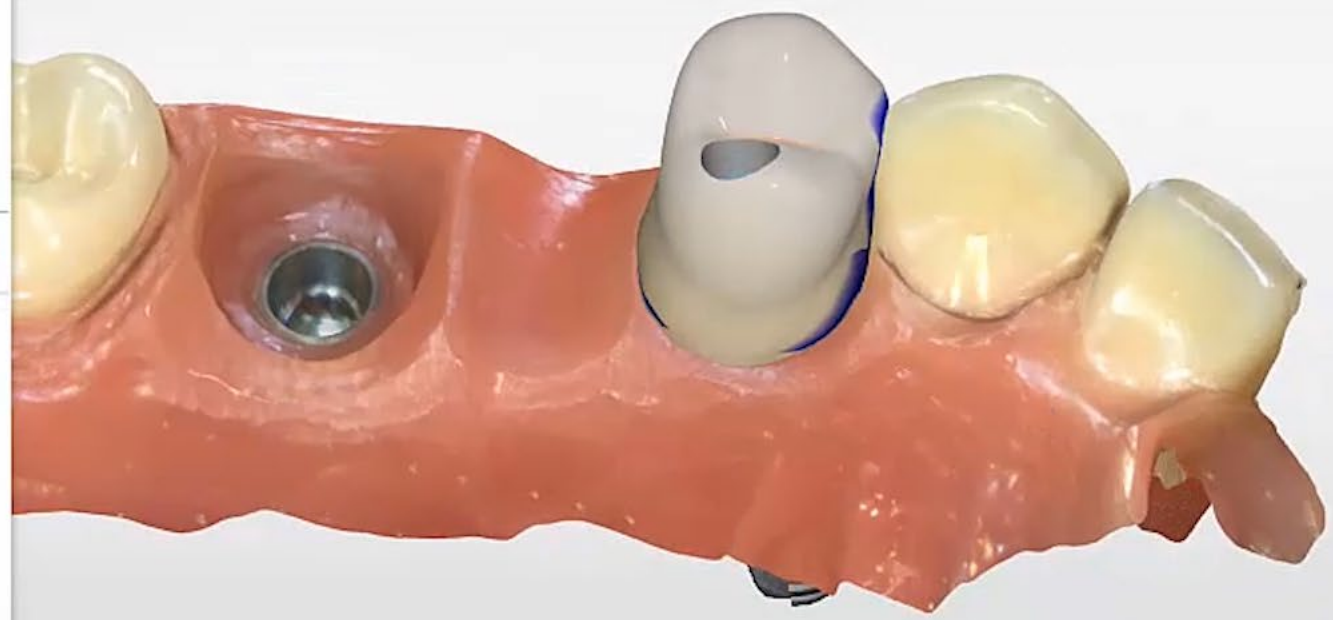
提案の計算中...



# 5. 設計

オブジェクトの表示

- 上顎 100 %
- 上顎スキャンボディ 100 %
- 最小厚み
- 修復物 100 %
- トリム模型
- 模型ベース
- TiBase
- インプラント
- スクリーン



ツール

- フォーム
- ポジション
- シェーブ
- 再計算
- バリエーション
- 縮小
- コンタクトを調整

分析ツール

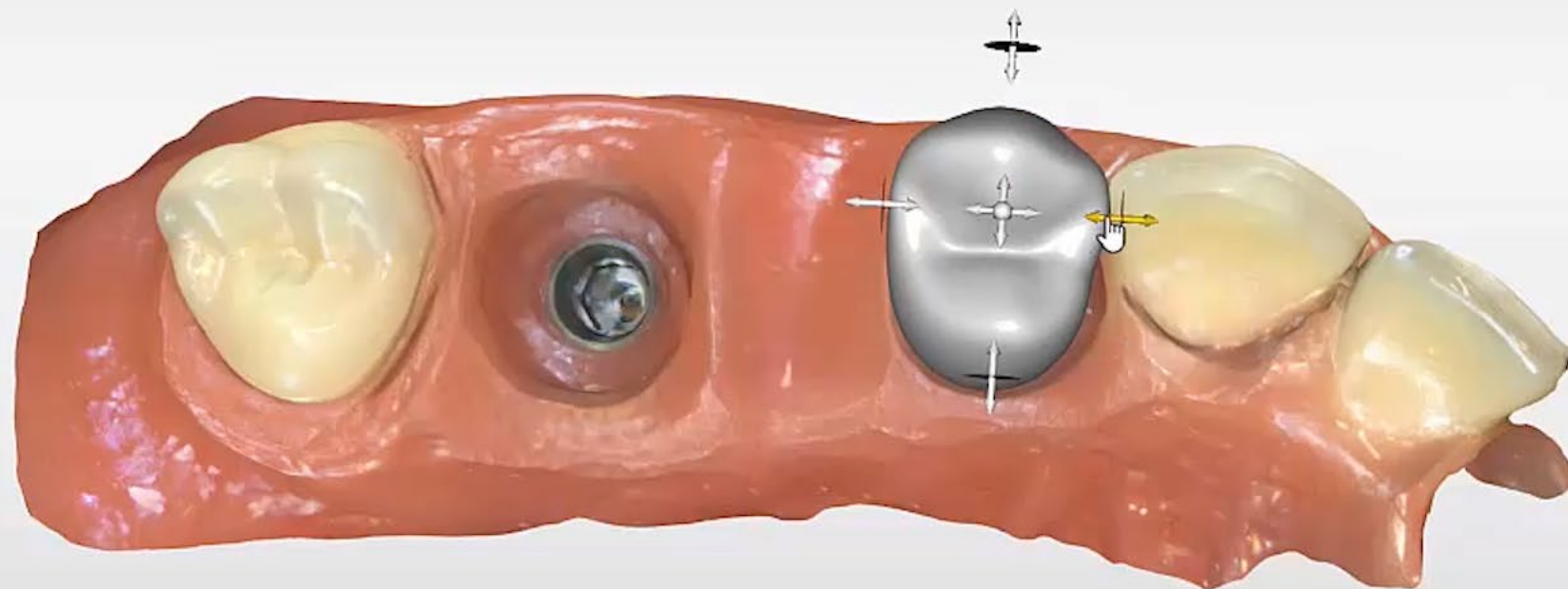
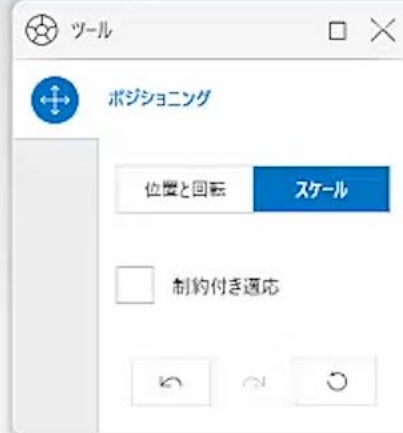
- 修復物コンタクト

クラウンが表示されたら画面下"ポジショニング"をクリック

修復物パラメーター ✓ 形態 ✓ **ポジショニング ✓** 修復物の編集 ✓

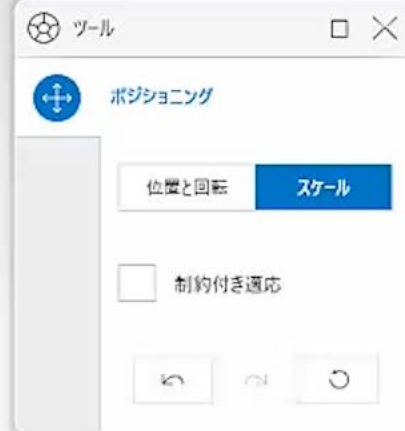
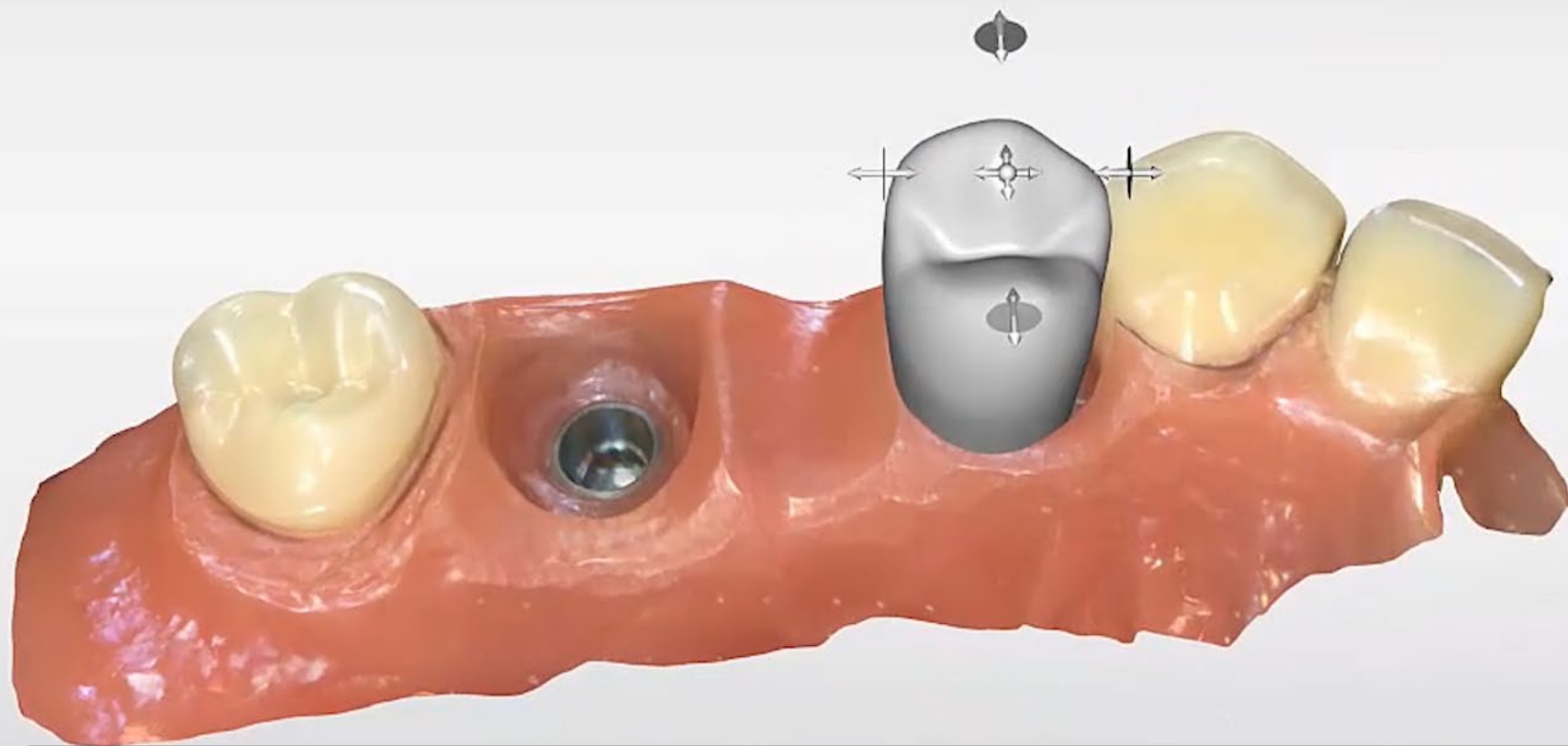


"OK"をクリック



矢印を使ってクラウンの位置や外形を調整



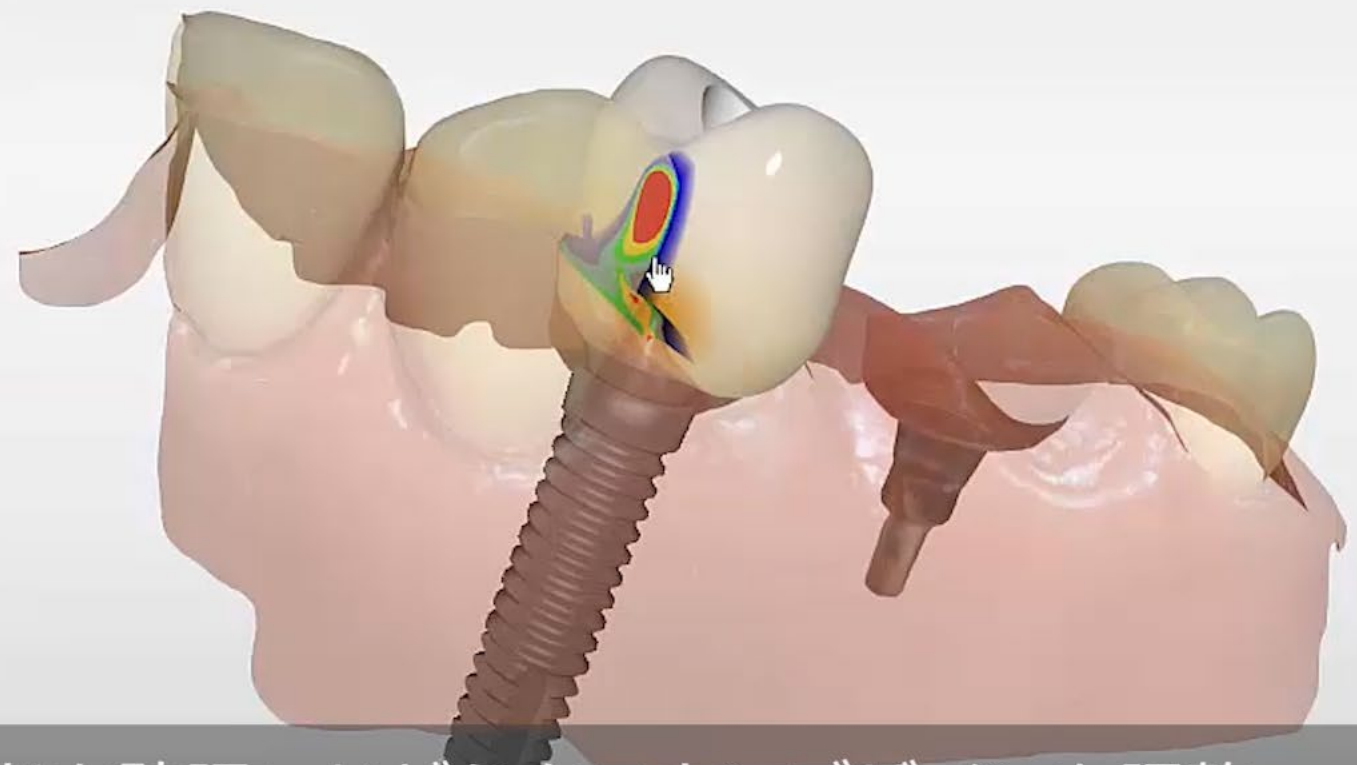


画面下"補綴物の編集"をクリック



オブジェクトの表示

- 上顎 42%
- 上顎スキャンボディ 100%
- 最小厚み
- 修復物 100%
- トリム模型
- 模型ベース
- TIBase
- インプラント
- スキャンツール



ツール

- フォーム
  - 平滑化
  - サイズ 2.35 mm
  - 強度 45%
  - 階層の非表示
  - 対称を適用

分析ツール

- 修復物コンタクト

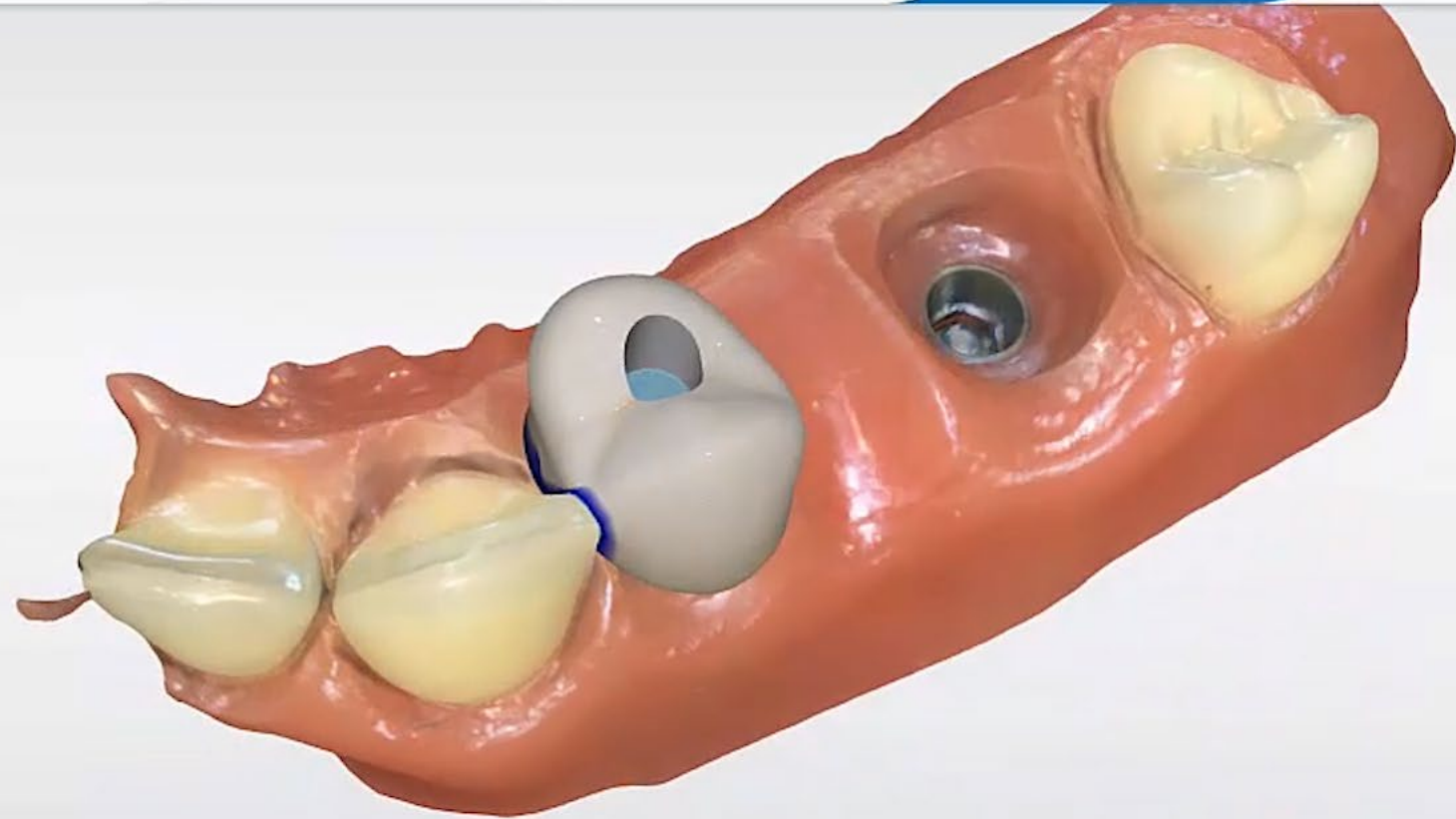
カラーコードを確認しながらクラウンデザインを調整

修復物パラメーター ✓ 形態 ✓ ポジショニング ✓ 修復物の編集 ✓



オブジェクトの表示

- 上顎 100 %
- 上顎スキャンボディ 100 %
- 最小厚み
- 修復物 100 %
- トリム模型
- 模型ベース
- TiBase
- インプラント
- スクリーン



ツール

- フォーム
- 平滑化
- サイズ 2.35 mm
- 強度 45 %
- 階層の非表示
- 対称を適用

5 0

分析ツール

- 修復物コンタクト

デザイン決定後画面下、右矢印をクリック



# 6. 製造



各種パラメーターを確認し画面右下"開始"をクリック

製造

ミリング (i)

ファイン (選択) エキストラファイ  
ン

ブロック

CEREC Zirconia meso - L (v)

ドライ処理 (選択) フォット処理

ブロックの取り換え

シールド (i)

A3 (v)

インスツルメント (i)

セット1  
P-25 CS, P-10 CS

セット2  
Diamond 14 CS, Diamond 12 CS

仕上げ (i)

CEREC SpeedFire (v)  
準備完了

開始 (マウスカーソル)

# その他注意点

# inLabではSTLデータが受けられない



通常はSTLインポート  
のメニューがある



スキャンボディの  
カタログはSTLインポート  
のメニューがない

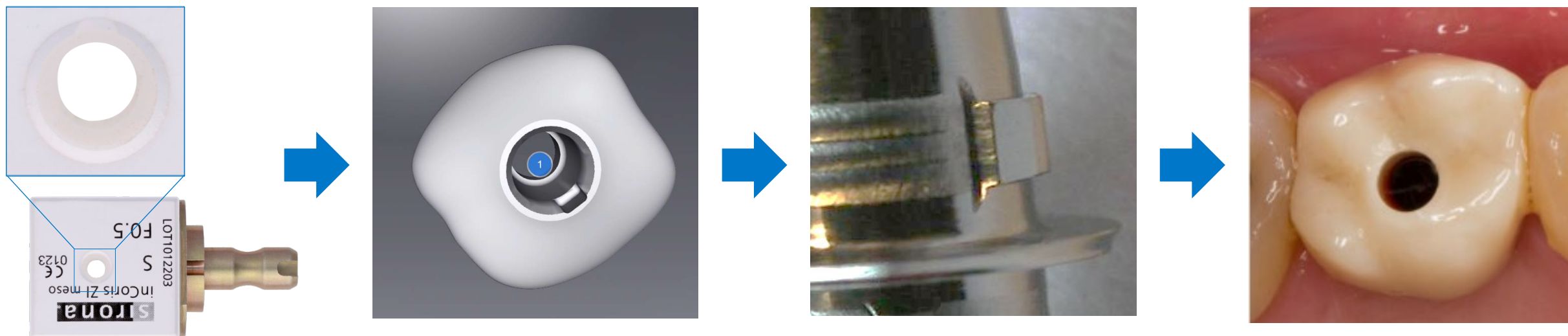
# 国設定を変更

- ソフトウェアの国設定が“日本“になっているとEV Tiベースが表示されません
- ソフトウェアの再インストール作業が必要となりますので、デンツプライシロナへお問い合わせください



# バー

- Tiベースのノッチ部分は、加工の際0.5mmバーを使用する為、MCX5マガジンツールには3種類のバー（2.5mm/1.0mm/0.5mm）をセットする必要があります



Thank You

